



第 21 回 例会 報告 (12月2日)

【 出 席 報 告 】

・ 会員数	54名	・ 出席数	34名	・ 欠席数	20名
・ 当日出席率	75.00%	・ 前々回修正出席率	93.87%		

< 欠席会員 > 青野(賢)、檜垣(巧)、藤田、飯、菅、桑森、重松、竹田、瀧幸、田中、渡辺

[免除会員] 青野、原田、松本、宮本、村上、野間、白石、高木、八木

<11/18 欠席補填>(11/12 高松西)川上 (11/19 道後)瀧幸 (11/19)AC藤田 (11/22 今治北)飯、金森、吉良
小堀、久米、光藤、越智(務)、田中、藤堂、徳丸、渡邊

会長報告・藤堂宗昭会員のご長女、有未(ゆみ)様が11月22日に入籍されました。心よりお祝い申し上げます。

幹事報告・四国瓦斯(株)檜垣会員よりカレンダーを頂きました。ご入用の方は事務局までご連絡下さい。

新会員卓話

楠本金也会員卓話:私達四国電力は電気の安定供給に、向けて日々努力させていただいています。高齢化や情報化に加え、地球温暖化問題を背景に電気の果たす役割は重要なものと認識しております。良質な電気をお客様のもとへお届けする為に原子力、水力、火力などの発電所で生み出された電気は、送電線を通り、変電所で順次電圧を下げ、配電線でお客様のもとへ届けさせていただいています。電気は貯めておくことが出来ない為、常に使用量に合わせて発電する必要があります。高松市にある中央給電指令所では、24時間体制で四国全域の発電量と電気の流れをコントロールしています。日本のエネルギー自給率はわずか4%にすぎず、エネルギー資源のほとんどを海外からの輸入に頼っています。発電受電電力量の構成比は、2019年には原子力が44%の見通しです。皆様にご迷惑をおかけする停電の当社年間平均値は、2009年が7分と電力設備が強化され減ってきています。アメリカ2007年128分、イギリス82分と比べると日本の電力会社の品質の高さが窺われます。停電の原因としてはカラスの営巣が大きなウエイトを占めています。カラスの営巣による漏電、カラス自身の感電による停電などがあります。カラスの電柱への巣作りが年々増え、今治営業所だけで年間約350件撤去しています。巣作りの材料の一つである、クリーニング用針金ハンガーが停電の原因となっています。営巣の事故防止対策としては、営巣の撤去、営巣防止材の取り付け、営巣位置の誘導などで対処しています。最後に、最近私が読破した書籍のご紹介をいたします。東レ経営研究所 佐々木常夫社長が書かれたものに、「そうか、君は課長になったのか」という書籍があります。日本経済はかつての輝きを失い、長い迷路をさまよっています。そして、現在の社会は課長受難の時代といわれています。多くの企業が厳しい経営を強いられ、以前よりも少ない予算や人員で、難易度の高い成果を求められています。そんな時こそ、課長職と言われるポストがどんなに重要で、やりがいのあるポストであるかということが書かれています。経営陣も自社を振り返り、よりよい人材の育成、適材適所が図れるよう考えていくうえで、非常に参考になる書籍の一つです。



次 回 例 会 (12月9日)

【 年次総会・委員会アワー 】

< 会員誕生日祝 >	平尾浩一郎氏 (12/9)	青野 淳一氏 (12/11)	重松 宗孝氏 (12/16)
	檜垣 俊二氏 (12/20)		
< 配偶者誕生祝 >	渡邊 道信氏 (12/14)	小堀陽一郎氏 (12/14)	藤田 聡司氏 (12/16)
	久米 操氏 (12/22)	野間 豊博氏 (1/1)	
< 結婚記念日祝 >	野間 豊博氏 (12/14)	青野 明高氏 (12/19)	
< 入会記念日祝 >	阿部 真弓氏 (12/18)	村上 修三氏 (12/25)	
	[健寿司]		